

平成23年度 第1回新城市市政モニターアンケート調査結果

アンケート実施期間 平成23年4月5日（火）～4月19日（火）

回収率 97%（97人／100人中）

（%は小数点第2以下を四捨五入してあるため、合計が100%にならない場合があります。）

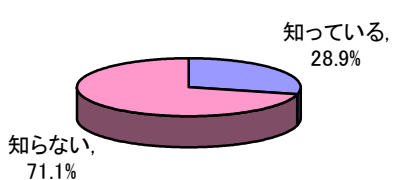
テーマ1 パブリックコメント制度について

「パブリックコメント制度」は、市の重要な施策・計画などを策定していく中で、その施策・計画などの素案を公表し、市民の皆さんに意見や情報を求め、提出された意見などを考慮して決定していくものです。また、意見などに対しても、市の考え方を公表しています。

このパブリックコメント制度の有効活用についてお聞きします。

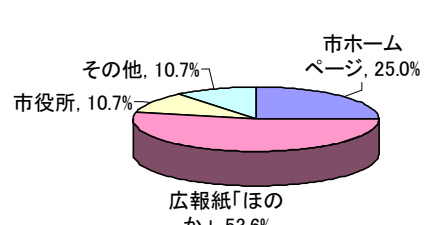
Q1 パブリックコメント制度があることをご存知ですか。（1つ選択）

項目	回答数	%
知っている	28	28.9%
知らない (Q6 へ)	69	71.1%
合計	97	100.0%



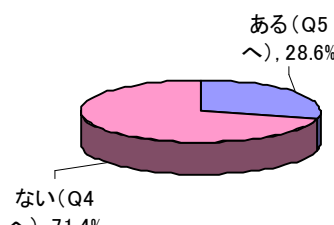
Q2 パブリックコメント制度を実施していることを何で知りましたか。（1つ選択）

項目	回答数	%
市ホームページ	7	25.0%
広報紙「ほのか」	15	53.6%
市役所	3	10.7%
その他	3	10.7%
合計	28	100.0%

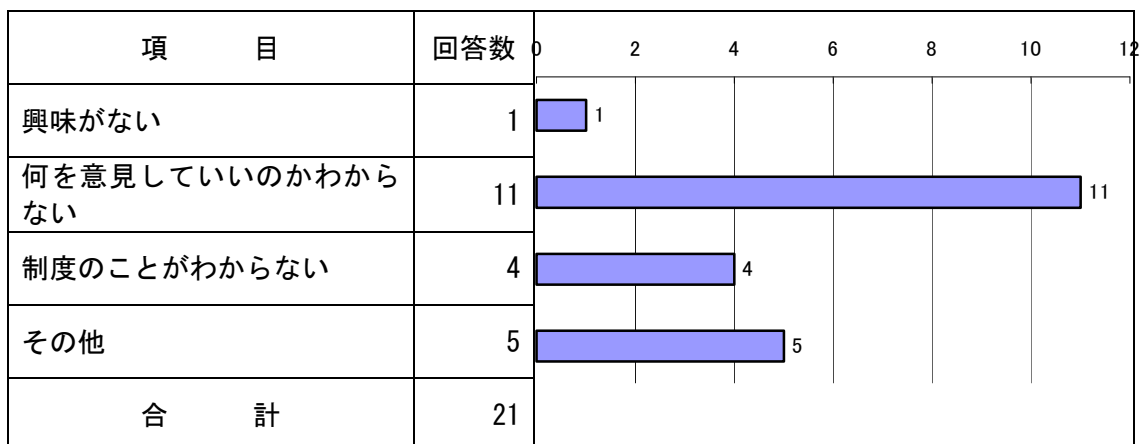


Q3 市の重要な施策・計画（地域福祉計画、観光基本計画など）を策定する際に意見等を提出したことはありますか。（1つ選択）

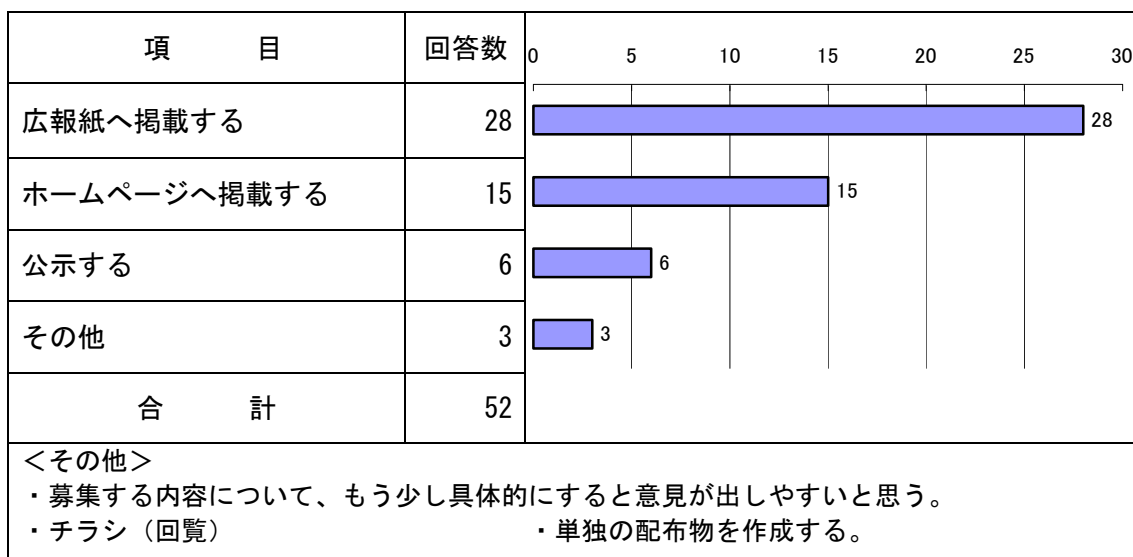
項目	回答数	%
ある	8	28.6%
ない	20	71.4%
合計	28	100.0%



Q4 「ない」と回答された方にお聞きします。意見等を提出しなかった理由を教えてください。（いくつでも）



Q5 パブリックコメントの結果は、どのような形で公表するのがよいと思いますか。（いくつでも）



Q6 皆さんにお聞きします。どのようにしたら市民の皆さんにパブリックコメント制度を周知できると思いますか。

- ・「ティーズ」で放映したらどうでしょうか？電話やメール、ファックスでコメントを受け付けたりするとよいのではないのでしょうか？
- ・「パブリックコメント」という言葉がややこしい、面倒だと思う。
- ・「パブリックコメント制度」という言葉自体を初めて聞いた様な気がします。家庭内で大人も子どもも一緒になって話ができる様な目線で、具体的なテーマを掲示してください。
- ・「パブリックコメント制度」という言葉を知らなかった。もっとわかりやすく、市民に伝えることが必要。
- ・「パブリックコメント制度」と聞いただけで何？と思ってしまった。施策や計画に興味がある方や、それらに関係する仕事に従事する方にしか周知できないのでは？一般市民が内容を把握・理解するのは難しそう。
- ・「ほのか」、はり紙、有線。

<p>・「ほのか」で根気よく説明したり、テレビ番組やコマーシャル等を見習って普及に努めるより他にないと思います。</p>
<p>・「ほのか」で知らせてもいいですが、「ほのか」を読まない人もいますので・・・。「ほのか」以外に、プリントして配布したらどうですか。それと共に、無線放送で知らせたらいいと思います。「パブリックコメント」→高齢の方にも分かりやすい言葉でないと思いが向きません。</p>
<p>・「ほのか」に見やすい頁に記載する編集長の英知と思います。</p>
<p>・「ほのか」は全部読んでいないので、回覧板で回してもらってチラシに入っていれば一度は目を通すと思います。</p>
<p>・「ほのか」や店でのポスターなど。</p>
<p>・日本語にしてわかりやすく ・市の信頼性の確保 ・広報をする</p>
<p>①広報しんしろの巻頭に特集で掲載する。②無線「広報しんしろ」で案内する。③地区回覧で流す。</p>
<p>・TV</p>
<p>・一軒一軒、ハガキ、パンフレット等で周知を図る。</p>
<p>・多くの人に周知できるようにするためには、個人個人に説明し知ってもらうようにしなければいけないと思う。市のホームページや広報で照会するだけでなく、各家庭に郵送したりした方がいいと思う。</p>
<p>・オフトークで一定期間宣伝する。「ほのか」に大きめに載せる。</p>
<p>・各家庭へ配布できるような独自の配布物等、一枚の用紙で周知できると良いと思います。(広報等に掲載するだけではなかなか目に留まりません。)定期的刊行物としていく。</p>
<p>・学校や会社などにパンフレットのようなものを置く。</p>
<p>・区の代表である区長、又は組長会まで広げて意見を集約するようにする。</p>
<p>・現代は情報化時代で、あらゆる方面に対処できるようになっています。局所にとられない様にいろいろなシステムを利用して少しでも皆さんに周知できるように配慮したら良いと思います。</p>
<p>・公共施設にできるだけ多くの投書箱を設置して、誰でも投書できるように書法を考えてもらえたら意見(以外)できやすいと思います。(アンケート方式)</p>
<p>・広報「ほのか」を利用する方法が良い。(但し、具体的に説明する方法が良いと思う。)</p>
<p>・広報誌、防災無線→このような制度があります。詳しくは・・・と周知呼びかけ</p>
<p>・広報紙「ほのか」の中で繰り返し周知する。同時にアンケート用紙も配布し、区を通じて回収する。積極的にコメントを出す市民は少ないと思うが、アンケート用紙に記入する様にすれば数が増えると思う。</p>
<p>・広報だけでなく、消防、PTA、商工会等あらゆる団体またはその長から話を聞く機会を設ける。</p>
<p>・広報で周知させるのが最も確実と思いますが、無作為に市民に郵送にてコメントを求めるほうが、ある程度の意見が求められる。</p>
<p>・広報で流して、多くの人に聞いてもらうといいと思います。</p>
<p>・個人宛のアンケートなどで興味を持ってもらう。広報などでは見落としてしまうので。</p>
<p>・この文章を読むまで、全く知りませんでした。午後6時の防災無線や広報しんしろなどでアピールして頂ければ、周知できると思います。</p>
<p>・市からの回覧の中に入れる。</p>
<p>・市民一人一人に個人名でプリント配布をする。パブリックコメント制度→言葉の意味不明</p>
<p>・周知方法の問題ではなく、市民から提出された意見を吸い上げる(大事にすること。反映されれば、どんどん参加したり、意見も増える。</p>
<p>・積極的な広報活動が今後も必要ではないでしょうか。</p>
<p>・全市民(高校生以上)への通知(はがき)</p>
<p>・全世帯ほどの程度、制度を知り理解されているかアンケートし、その結果で今後の対応を考えたほうが良いと思います。</p>
<p>・地区ごとに分けて、詳しく説明してもらえるようにしたいと思う。</p>
<p>・地区の集會等にてパブリックコメントを話し合う。</p>
<p>・ティーズの「いいじゃん新城」で、わかりやすく説明してもらえると多くの人を知ることができると思</p>

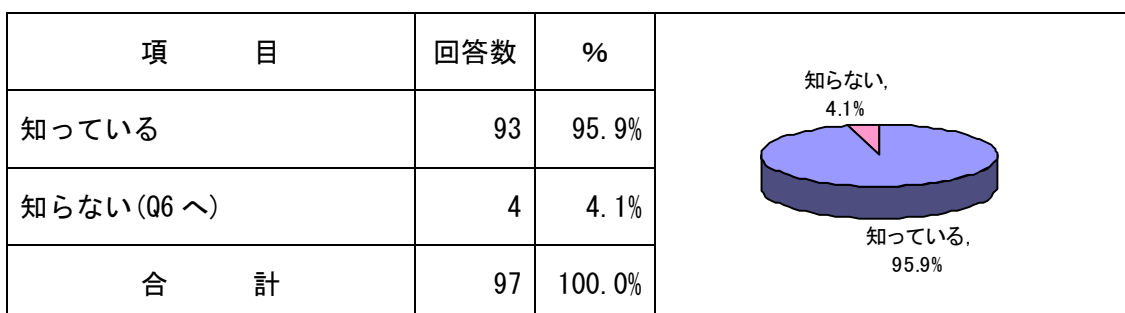
う。
・どれだけ宣伝しても、受け止める側に興味が無ければ利用できない。ただ、パブリックコメント制度というのは、とてもよい制度だと思います。人の集まる場所で知らせたり、アンケート形式で…というオーソドックスな方法しか思い浮かびませんが、やれることをやれるだけやるということではないでしょうか。
・初めて知りました。何気なく目にしたり、聞くことができれば知る人も増えるのではないかと思います。
・パブリックコメントとは日本語でなんと言うのですか。広報で知らせることは必要ですが、本当に大切な事は文書で知らせる事が必要と思います。
・パブリックコメントは『公の意見』という意味でしょうか？何をコメントすることなのかよく意味がつかめません。施策に対する意見でしょうか？施策や計画に対しての意見なのか、策定するための意見なのでしょう？残念ですが、少なくとも私の勉強不足かも知れませんが、理解しかねます。市の計画や施策は最も重要度の高いものだと思います。プライバシーの問題点もあるかもしれませんが最近ではメールにてさまざまな情報が送られて来ます。現在は多くの方が携帯メールを持っています。活用したらどうでしょうか？あるいはシステムを開発したらどうでしょうか。地震のときにも活用出来るシステムの構築をすることも考えたらどうでしょうか。
・パブリックコメント制度が市政に反映されている実績を公表する。地上波のテレビで取り上げてもらいなどの広報活動を行う。ただ、疑問なのは市民の声を受けて選ばれた、市議会議員及び市長が出した素案を再び議論の場に上げる必要があるのだろうか？
・日頃の市政活動に興味、魅力を感じてもらえる様な行動、仕事のやり方を考え、地道に行うことだと思います。
・ホームページ、広報紙、無線、回覧等複数の手段で発信しないとなかなか周知されないと思います。第一、名称が覚えにくいと感じます。
・ホームページに載せてもパソコンをやらない方は分からない。「ほのか」に載せても興味がなければ読まない。ティーズも接続していない人は分からない。市役所はもちろん、病院の待合室、学校など色々な場所に分かりやすく、ポスター的な感じで貼ってアピールしてみても如何ですか。
・まず、「パブリックコメント」の言葉の意味さえわからない方もいると思います。そのためには、各種団体、会社の広報担当の方たちがみんなに分かりやすく説明したり、各町内の区長さん、組長さん達が町内の集まりなどでわかりやすく説明し、話し合いで出された意見などを提出していくという方法はでしょうか。
・無差別でアンケートを送って回答してもらおう。回覧板で回す。
・新聞にチラシを入れる。
・メールマガジンで連絡してもらえると助かります
・私もそうですが、なかなか市のHPや「ほのか」をしっかりと見ることがないため、こういった情報にうといです。私のような20代の方がすごく興味のあるような情報・記事があるともしっかり目を通すのでは…。
・各組の組長さんに個々に伝えてもらうのが一番では…
・広報誌に直接回答できるような書類をはさむ。人の集まる場所に素案を掲示し、意見や情報を寄せる方法を明記する。投書箱を用意する。
・市政でやられていることは、市民に伝わっていないことが多いと思います。重要性の高いことはポスターで宣伝、ホームページへ掲載するなど、一般市民が見る機会の多い場で積極的にPRする必要があります。
・市民への周知としては、広報紙・HPでの広報しかないと思う。もし、応募率を高めるなら謝礼や謝金の導入が望ましいと考える。特に、より専門的な分野のパブリックコメントを発表する場合は、一般市民が少なからずその分野について調べる必要があるからである。
・自分の問題であることを意識させる方策を講じる。施策・計画の量を少なくする。
・図書館や駅など公共の施設に「こんな制度がありますよ」というポスターのようなものがあれば見る方も増えるのではないのでしょうか。私もそうですが、広報誌やホームページだけだとなかなか見る機会がない人も多いと思うので(若い人は特に)

- ・制度を周知するために、概要版の配布をする。また関心が高いと思われる事、例えば各種規制について緩和すべきか、否か、意見を求めるなどしてはどうか。
- ・制度を認知させるには、時間が必要です。計画などに意見しても自分一人の意見では何も変わらないと思う人が大多数だと思うので、自治基本条例など市民一人一人の意識を高める企画等と同時進行して、個人の意見が行政に届くんだ、といった実例があると少しずつ変わると思う。
- ・学校などの行事(運動会など)に市の職員とかボランティアで派遣してPR活動をして見たらどうですか。
- ・役所の掲示板をもっと閲覧しやすくする(掲示板もHPも)

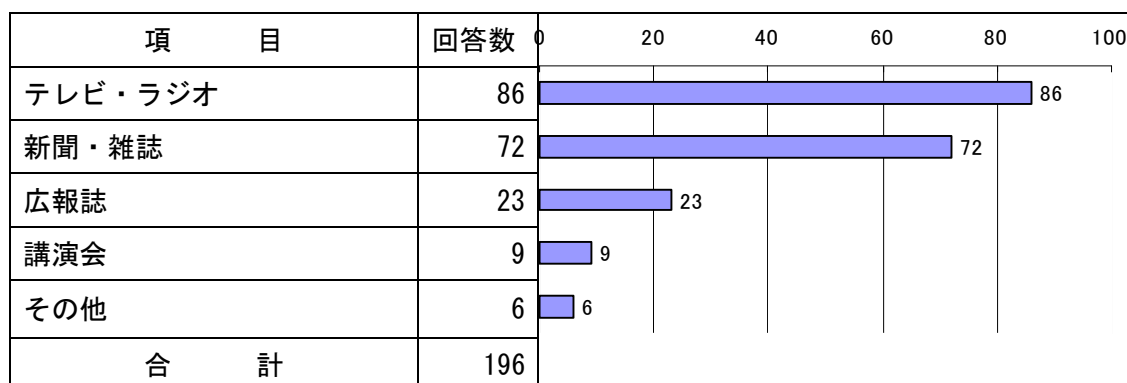
テーマ2 消費生活に関するトラブルについて

消費生活に関するトラブルには、悪徳商法、資格・内職商法、インターネット・携帯トラブル、通信販売等があります。トラブルの現状を把握するためお聞きします。

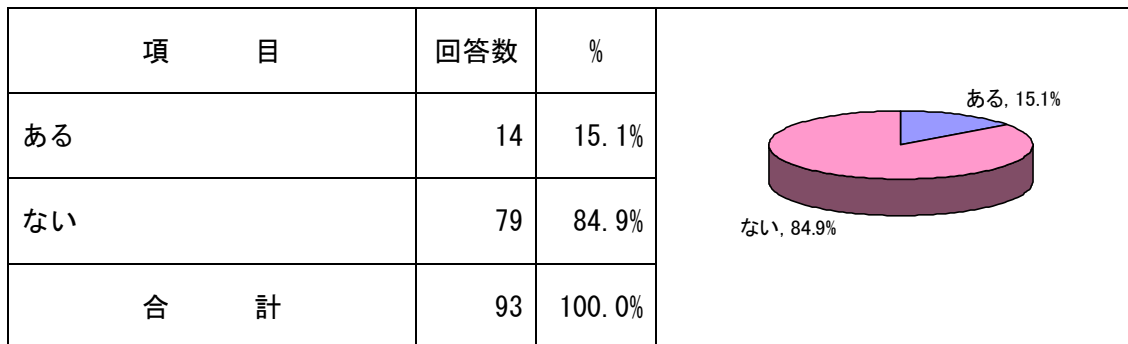
Q1 あなたはこのような消費生活に関するトラブルについて知っていますか。
(1つ選択)



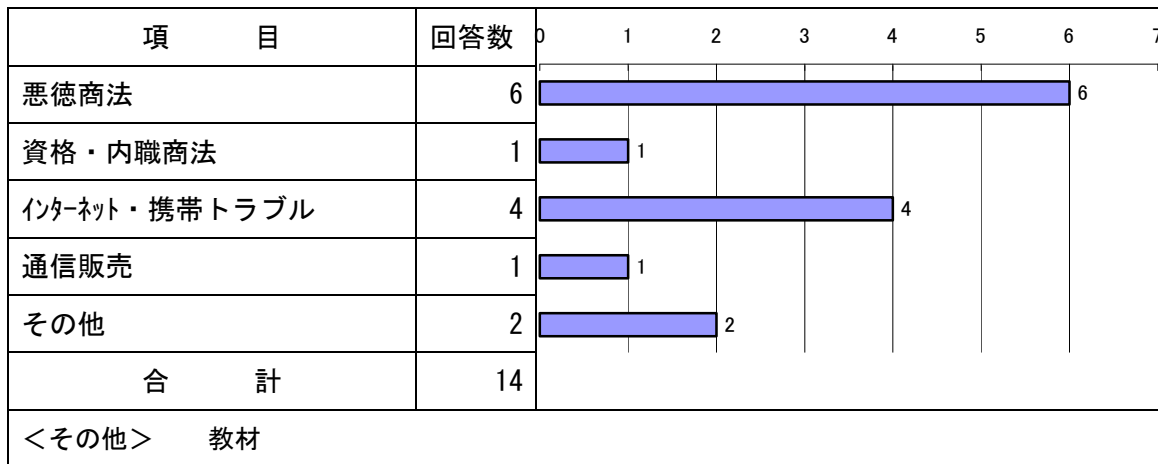
Q2 「知っている」と回答された方にお聞きします。次のうち、どのような方法で知りましたか。(いくつでも)



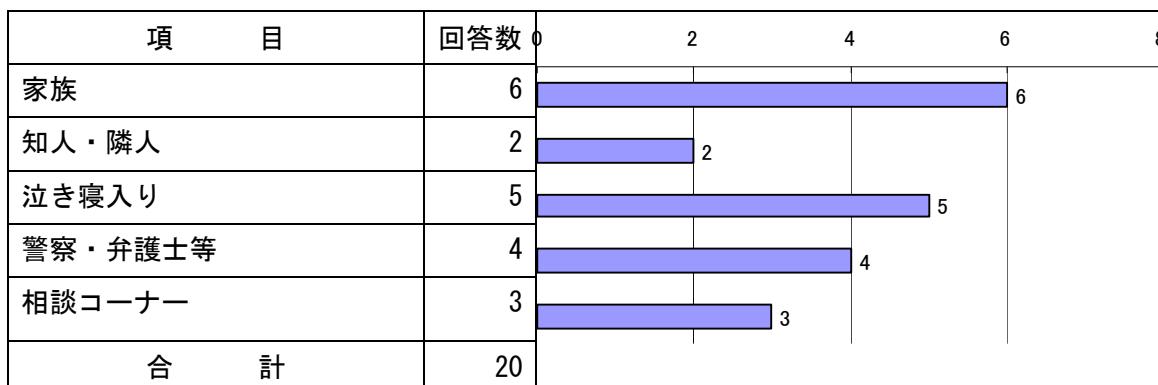
Q3 あなたはこのような消費者トラブルの被害にあわれたことはありますか。
(1つ選択)



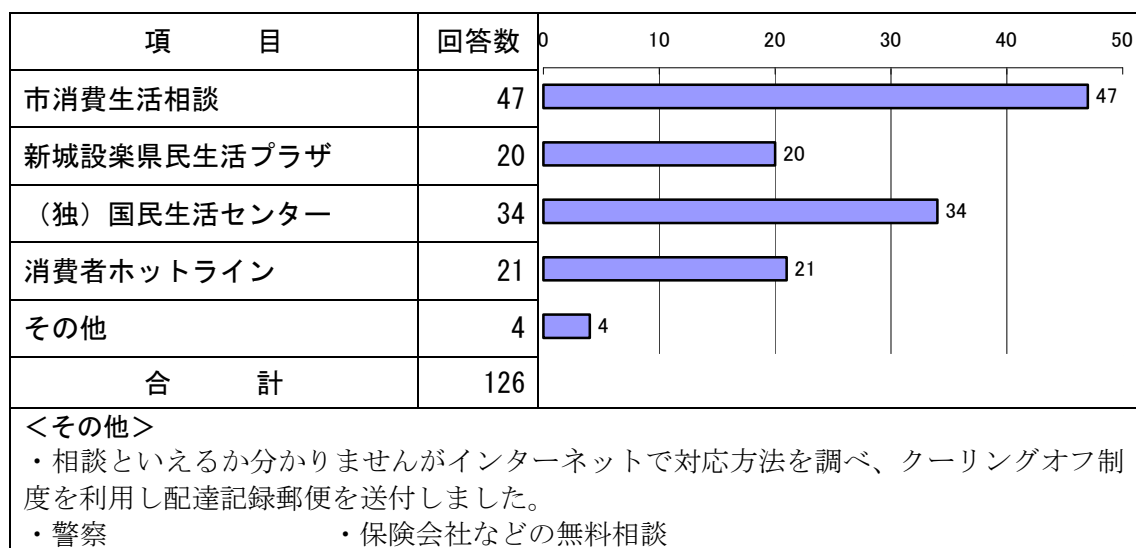
Q4 「ある」と回答された方にお聞きします。それはどのような被害ですか。
(いくつでも)



Q5 どなたかに相談されましたか。(いくつでも)



Q6 皆さんにお聞きします。消費者相談ができる窓口をご存知ですか。
(いくつでも)



テーマ3 自治基本条例について

新城市自治基本条例を考える市民会議は、1年間で、延べ500人の意見を聞きながら22回の会議を重ね「市民のことばによる新城市自治基本条例（たたき台）」をまとめたうえ、3月28日市長へ提言しました。

最初に「なぜ、私たちは自治基本条例をつくるのか。」を次のとおり記述しております。

【なぜ、私たちは自治基本条例をつくるのか。】

いままで、私たちは、この地域で暮らし、さまざまな伝統・文化・産業をつくりあげてきました。この地域には、全国を代表する歴史遺産や美しい自然、やさしい人間味あふれる人情、安全でおいしい農産物があり、私たちはそうしたものを大切に守ってきました。

長い歴史のうえに成り立っている私たちのまちが、元気で住み続けられ、世代のリレーをすることができるまちとなるため、そして、市民が主役となってまちづくりを進めるために、私たちはここに条例を定めます。

私たちは、市民一人一人を大切にし、より魅力あるまちにするため、みんなが当事者となり、人の話をよく聞きながら、この条例とともにまちづくりをすすめます。

私たちは、市の現状を知り、抱える問題を自分のこととして考え、お互いに助け合って課題を解決します。そのためにも、私たちは、市民が責任を持ってまちづくりに参加する機会を最大限保障し、そのしくみをつくります。また、地域特有の問題は地域で解決できるための手段を常に探求します。

私たちは、郷土愛を持ち、市外の人にも観光や定住のため新城へ来てもらえるまちづくり、雇用などの生活基盤整備や医療体制・防災体制の充実を図ることなど安全・安心で暮らしやすいまちづくりをします。私たちは、互いに情報を共有し魅力ある情報を発信することで、合併したまちが一体となってさらなる発展をめざします。

Q1 あなたのご意見をお聞かせください。

<p>・アンケートをこれからも実施して、一人でも多くの人に理解してもらおうと思った。私も、アンケートに参加でき、新城市の活動が少しでも分かったので、いい経験になりました。</p>
<p>・一般市民に何ができるのかがわからないのですが…。</p>
<p>・田舎でのんびり暮らしたいという思いで、越されている方も多くみえます。「のんびり暮らしたい＝地域と関係を持ちたくない」という構図も見え隠れします。その方々に郷土愛、伝統、文化云々は難しい気もします。インフラ、雇用、医療体制の立て直しが新城市としての自治基本条例の核となると思います。</p>
<p>・今、東日本大震災がおきて、いざという時にどこへ逃げれば安全なのか？どこへ物資がどうやって届くのか？など消防、警察、役場、どこへ行っても市民に分かるようにしてもらいたいです。決して、「どこどこの部署で聞いてもらわんとわかりません」ということがないよう情報や動きなど統一してもらいたいです。</p>
<p>・今のこの地域は、はたして魅力あるまちに近づいているのでしょうか？合併したことで、老人の占める人口が増えたり、若者離れが進んだ気がします。今のうちに、何らかの手をうたねばと思います。</p>
<p>・今まで通りで良いと思います。</p>
<p>・今までは、商売が忙しくて、そういう取り組みに参加したことが無かったのですが、年齢も経てきたのでこれからは少しずつでも関わっていきたいと思います。</p>
<p>・医療体制と防災体制は、特に山の奥に住む私たちには十分に考えて欲しいです。</p>
<p>・各種会合やイベント等の時に自治基本条例の話をして、内容は口コミによって大勢の人にわかってもらう様にしたらいいと思います。賛成します。新しい新城市のため、お互いに助け合って生活することが一番だと思います。</p>
<p>・合併した旧鳳来・作手のニーズを後回しにせず、平等に解決に向けて取り組んでいただけたらと思っています。市外に住んでいる方にも、郷土で大切にしていってほしいことなどアンケートしたらどうかと思う。中学校の同窓会の協力が得られれば、多くの方の意見を知ることができると思う。ここに住んでいる人には、気づかないことにも気づいているかもしれないので。</p>
<p>・合併したことで、新城市の中でも過疎化の進む地域では、病院へ行く、買い物に行くといった日常の生活をするのにも車に乗れないなど、交通が不便で行けないことがあります。もっともっと、市全体のことを考えてほしいと思います。</p>
<p>・頑張ってください。但し、市民会議(500人)の対象者を幅広く集めてほしい。身内(職員や議員、その他市関連者)や一部の仲間だけでは、本当の目的を達しえない。</p>
<p>・基本条例がこのような形でまとめられていることを知りませんでした。しかし、延500人の意見をまとめるなど、とても一生懸命取り組んでいる姿勢がよくみえてすばらしいと思いました。</p>
<p>・具体的な話ではなく、読んでいてあまりよく理解できませんでした。本当に住みやすい町づくりとは一体どうゆうものなのか？具体的な事は分かりませんが、市民が生活していて安心安全が第一ではないでしょうか？東北の震災があった後ですので、市民は防災に対しての心配があります。合併された町の方々も不安に思っていると思います。形だけではなく、防災時のあり方をもう一度市民で考えるべきだと思います。</p>
<p>・具体的に安全安心で暮らしやすいまちづくりのための策も続けていくと、より分かりやすいと思います。</p>
<p>・工場、産業、企業の誘致。古家、空家、空地の利用</p>
<p>・国道151号線川田～清井田まで4車線に(片側2車線) ・新城駅前を開発、観光案内所を作る。 ・ぶどう狩、いちご狩等の観光農園</p>
<p>・このアンケートのように、直接市民に配り答えてもらった方が、市民の本音がうまく聞き出せると思う。安心安全な暮らしを望む私達の本音をこれからも耳を傾けて聞いて欲しい。市民みんなで住みやすいまちづくりをしたいと思う。</p>
<p>・このようなことが実現できるように、しっかりと内容を細かく考えていってほしい。</p>
<p>・この地域は本当に良いところで、より魅力あるまちになってほしいと願っています。市外の人たち</p>

<p>も観光に來たり、定住できる街になったらいいと思います。しかし、最近の全国の傾向として昔の文化や伝統を大切にしようという風潮があり、市全体で昔の儀式や祭りを取り入れたり伝統的な物を保護したりすることがあり、個人的にはそのことに少し抵抗があります。都会ではないので、昔の伝統などで人を引きつけることが一番手っ取り早い方法なのかもしれませんが、そういったものは宗教行事と絡んでいることが多いと思いますし、市としても注意していただければと思います。また、「歴史遺産の保護」というものでは、今この地域に住んでいる若者が都会に出て行くことは止められないと思いますし、人々が定住する要素にはならないと思います。なので伝統的な文化や歴史遺産を保護することに力をいれるよりも、美しい自然を守り子供やお年寄りが住みやすい安全なまちにすることを考えつつも、働く場所を増やしたり(たとえば新しい商売や会社を始める人をサポートするなり)、都会に出勤しやすいように交通の便をよくするなど、働いている人たちがこの地域に残ることのできるような政策を何か考えていただけたらと思います。現状では、よいまちなので住みたいと思っても仕事や学校のためにこのまちを出て行かなければいけないことが多い気がします。「雇用」という言葉が入っていましたが、上記の内容では雇用層に関することが少ないように感じたので、意見を書かせていただきました。</p>
<p>・今回、東北で地震がおきたことで、ますます不景気になるのではと皆不安になっていると思います。雇用や医療に関して不安に思い、新城を離れる人がいると思うので、安心して暮らしていけるようになると良いと思います。買い物はなるべく新城でするなど、小さいことから協力できると思うと思っています。</p>
<p>・今回合併された町村からの提案をどしどし出してもらって合併後の弊害をより少なく、我々の仲間として協力すべきだと考えます。新城市は、もっと広い地域と良い所・悪い所のPRに努力すべき。隣接する静岡とも協力して皆の明るい日本を目指して欲しい。医療の面でも協力してもらうには、他の事で協力する必要あり！！市長始め役所の上段の方々の努力を期待します。市の職員ももう一歩ボランティア精神を発揮して、市民からの信頼を勝ち取って頂きたい！！市民も協力できることはやっていきたい。硬い殻から一歩出ましょう！！生活保護手当、障害者手当、子ども手当、公益法人法等、もっと深く調査を実施すれば税金が浮いてきますよ！！長いもの(物)にまかれろはやめましょう。</p>
<p>・自治基本条例は、良いことだと思います。市民全員に定着し、浸透していくまでに時間もかかり、大変なことかもしれませんが、市民が市民として、市を良くしていくことに賛成です。</p>
<p>・自治基本条例をつくる意図はわかるのですが、具体的にどういった内容の条例であるのかわかりません。</p>
<p>・自治に対し、住民一人一人に責任が伴うことを考えるべきだ。・経過責任</p>
<p>・市として”熱意”をもって取り組んでいると感じました。一市民として、異なる立場(年齢、職業等)の人々が集まり、様々な視点から意見を持ち寄ることで住みよい、住みたい街になればと思います。</p>
<p>・市にとって何が大事か？良い文章だと思います。</p>
<p>・市民が一丸となって自治に参加し、自らが能動的によりよいまちづくりに取り組む気持ちは大切だと思います。この方針は、市政に取り組む市長さん始め市議会議員、市役所職員等とも通じるものであり、目指すところは同じだと思います。肩書きを持つ役職ある方々の役割は大きいものがあり、その力をどのように発揮していただけるか、又、市民との連携はいかにあるべきか、これからの課題として一緒に考えていきたいと思っています。</p>
<p>・市民が主体的になり、様々な諸課題に向き合うことはとても大切なことです。郷土を愛する気持ちを基本に上記のことが継続的に(市民生活に)活かされることを願います。私も、微力をつくして参りたいと考えます。</p>
<p>・市民として、各活動の効果が実感できる事を推進してください。</p>
<p>・市民の様々な意見がより良く安心できる生活につながればと思い参加しましたが、生活基盤や医療体制・防災体制の問題はなくなったのでしょうか？これからの市役所の活動に期待したいと思います。</p>
<p>・市民一人ひとりが新城市への愛情を持っていれば、もっともつと良い街になり、観光客なども増えると思います。ダメなところを改善するのは、もちろん大事だけど良いところをもっと伸ばすのも大事だと思います。</p>

<p>・正直、初めて自治基本条例をつくる意味が分かりました。このような深い意味、目標があるのですね。市民の皆さんは、この条例の意味をどの位理解されているのでしょうか・・・と思いました。(私みたいに無知な人が他にもいると・・・)この条例の意味を広めて、皆で新城を守り、築いていく・・・とても素晴らしいことですね。</p>
<p>・条例の文面がないので意見の書きようがありません。この条例ができれば、何がどう変わるのですか。新城独自の条例、基本があっても何も進まないことは見えていませんか。財源等良く考えて具体的な条例、時限がはっきりしている条例でなければ意味がないと思う。</p>
<p>・条例はまとまっていると思いますが、できることを一つずつ集中して片付けていくことの方が早道のような気がします。道路の計画にしても、昔と今は全く状況が違うので白紙にして考え直すくらいの改革をして欲しい。(予算の関係は理解しますが・・・)</p>
<p>・条例は良いが、絵に描いた餅にならない様に検証する所が必要と思う。</p>
<p>・素人がシテを舞える能は、日本広しといえども新城位ではないでしょうか？また、その能衣装の美しさ古さを誇っても良いのでは。何かの形でPRしたいですね。</p>
<p>・新都市の活性化のためにも、それぞれの地域で意見を出し合い、地域格差のないまちづくりができるといいと思います。</p>
<p>・新都市の自然を生かして、たくさん観光客を呼び、もっと新都市が活性化するように今後もがんばっていただきたいです。</p>
<p>・新城にも大地震が来るかもしれないです。その時、みんなで協力し合い、助け合える人々であられる町でありたいと思います。</p>
<p>・素晴らしいことだと思います。ただ、これをどのように行っていくか、市民個々に伝えていくのか、具体的にどうしていくのが問題ですね。この度、モニターをやらせて頂き、市に対する関心が高まったと思います。モニターを増やしていくのも一つのアイデアかもしれませんね。これからも、市政に関心を持ち、よりよいまちづくりに協力したいと思います。</p>
<p>・素晴らしいことだと思います。皆がこのことを知れば少しは地域が良くなるのでしょうか？こんなことを考えている人がいることを私は知りませんでした。</p>
<p>・その様になれば素晴らしいことだと思う。自治基本条例がうまく働き、新都市が良くなることを祈ります。</p>
<p>・大震災の事故を見て、胸が痛い。何か手伝いたいと強く思いました。こういう時、日頃の近所づきあいの大切さが大事ではないか。魅力ある街もいいけど、仲良くすることの方が幸せだと思います。両隣は特に・・・。</p>
<p>・作手地内では、同じ子どもをもっている母親たちの中では、いつも保育園・支援センターの現状、公園など、様々な意見が出ています。こういった話をもっと多くの人に聞いていただけたらと思っています。</p>
<p>・定住数を増やし、市の活性化の向上。</p>
<p>・東北大震災で、世界各地から多くの人々が支援に集まるのを見てると、自分の「世界・地球の一員としての生き方」を問われているように思いました。しかし、ボランティアや義援金はいつまでも続かないであろうし、最後は自己責任・・・と思うと気が重くなります。この自治基本条例も、誰も反対できない美しい言葉が並び、最後のところは自己責任で終わるのでしょうか。従って、暮らしよい、住みよい町が主目的なら、基本的な①雇用の確保②病院の充実③子供の教育④防災・防犯の体制の強化・・・をどこまでやるか、はっきり明記すべきだと思います。国の予算獲得等も目的であるなら、町づくり、村おこし等の文献(農文協、地元学からの出発・・・等)と重複しない方がよいと思います。また、全地域の小学校・中学校の校歌を作文(宣伝文)に利用すると格調が高くなると思います。</p>
<p>・道路整備あしがる運行充実。</p>
<p>・とてもよいと思います。「まちづくり」は「人づくり」でもあると思います。誰でもが意見をもって参加できるわけでないし、逆に一部の人だけで進めるものでもない。よりよい集団づくりが、よりよい「まち」になっていくと信じています。</p>
<p>・とても理想的な事がまとめられていて良いと思います。今回の東日本大震災を受けて、自分たちの住む地域を自分たちで守り、愛していかななくてはいけないという事を強く感じました。理想と現実のギャップは大きいと思いますが、目標に向かって根強く、一步一步作り上げていかななくてはと思</p>

います。
・内容の濃い、市民の思いになった提言になっていると思います。私たち新城市民が、この提言をよく理解し、私たち一人ひとりの手で、一人ひとりが参加できた素晴らしい新城をつくってあげたいと思います。
・非常に良い文章だと感じました。私たち新城市民が新城市の歴史と風土を良く知り、合併後、合併前の市町村の魅力を合わせて、さらに自分たちで考えた新しい市として生まれ変わることを目指すということが伝わってきました。今後、自治基本条例が新しい新城市にマッチした市民のための独自の条例になっていくことを期待しています。
・人の話を聞くことはとても大事だと思います。独裁は、市民のためにはならないので。市民の意見を聞きつつ、威厳を保ち、時にはリーダーシップをとって、よりよい市を築いていただくことを切に願っております。財政など、決して余裕はあるわけではないかもしれませんが、今ある全ての力で、より魅力的な市に公と民が一体となって築いていけたらと思います。
・夫婦二人、子供たちは離れた所でそれぞれに暮らしています。ここの出身ではなく、二人とも新城に来て暮らし始めました。二人きりで年をとっていった時、安心して暮らしていける老人家庭を助けてもらえる福祉を充実して欲しい。病院も含めて。
・プライバシーの保護といいつつも、町内等ではオープンになりすぎていると思います。難しいことだと思います。住み良い新城になることを希望します。
・文が長いので、もう少し簡潔にまとめてください。言いたいことがよくわかりません。
・防災体制の充実を特に力を入れて欲しい。
・まず、自分の市の現状を知り、今後成長していく未来の子供達に負担にならないように、一人一人意見を出し合い、問題解決できるような体制をつくり、魅力ある市へとしていきたいと思います。
・もっと市民が生活しやすい市にしてもらいたい。
・よく大災害が発生すると、政治は命を救えないと云われます。自治とは元々自分たちの生活を良くする事から出発すると思いますので、まずその辺りを掘り下げて生命と生活を直結できる様な条例ができればと願っています。市民の皆さんになるほどと感心させるような条例なら納得するでしょう。
・ラジオCMで言っているように、親切とおせっかいは受ける人によって異なります。わずか500人だけの独りよがりの条例にならないことを強く望みます。
・私が住む、一畝田地区は、市街化調整区域になっています。外から新しい住民を受け入れる、又人口を増やす事は無理なのが現状です。一畝田・八名井に企業団地ができ、そこそこ企業も活動しています。その従業員の為に家を建てるようにするには、どうすればいいですか。市が事業をする予定も無いのに、なぜ調整区域に指定するのですか？
・私は、自分の大字の区長を知りません。なぜか公表していないからです。素晴らしい事を言ってみても、それにたずさわっている人だけのマスターベーションでは仕方ないと思います。各地の役についている人のみ知っているだけではなんにもなりません。
・医療体制の充実
・今、東日本太平洋沖大地震の被災地では小さな自治がいくつも出来上がりつつあると聞きます。避難所ごとにリーダーがみんなの意見を聞き反映させる。どれだけ気持ちが悪くても、体力的につらくても復興の第一歩はそういった小さな自治の活動からだと思います。それには地域の住民が市民としての責任を持っていないといけません。現状そういった意識のある人は少ないと思う。すべてが人任せ、他人事、そんな寂しい事はなくしたい。その意識改革の一歩として、この叩き台は素晴らしいと思う。
・子供たちの住みやすい町づくりになるのなら賛成です。第二東名の新城I. Cが出来ののですから、上手く活用出来るといいのですが…。アウトレットの誘致などをしてまずは、新城の町に人を呼ぶ事が出来たらいいですね。テーマとずれた答えでしたらすみません。
・私たちとは誰のことでしょうか？市民一人ひとりを大切に、誰かに大切にされるのでしょうか？私たちというのが役所のように聞こえます。役所も市民の一員であるので、この文面はいかにも役所の作成したもののような印象です。それともこれは市民宣言なののでしょうか？内容は最もなんですが、具体的に私たちの生活や若い人たちの生活はどうなっていくのわかりませんしどの方向に向っていくのか？みえてこないのが残念です。

<p>・住民主体の一つです。住民が責任を負うこととなります。条例を作って終わりではなく、それを生かすこと(実践)が重要です。</p>
<p>・文だけ見れば、自分たちで街を支えていくということで良い事だと思います。ただ、何の為に、どういう自治基本条例を作るのか、またその条例をつくることによってどういう利害があるのか、住民や企業としっかり話し合い、周知した上で決めて頂きたいです。</p>
<p>・新城市には様々な資源(歴史・文化・環境・食など)があるも、気付いていない市民が多いのではと感じます。情報を発信し続け、意識付ける事により大きな力となると考えます。基本条例についても情報発信不足であり、多くの市民から意見を頂ける仕組みを作り上げなければならないのではないのでしょうか？</p>
<p>・大切な事だと思うけれど、私にはまだ、実感が無い条例です。子供が大きくなって、今より地域とのつながりができれば、もっと行動できるかもしれませんが、他県から転入してきたせいか、参加しなくても参加しにくい状況なので...</p>
<p>・大変すばらしい内容だと思います</p>
<p>・非常に大切なことだと思いますし同感ですが、仕事の合間にどのように参加して意見交換したりする機会があるのか分かりにくいのですが...。各地にあるボランティアガイドなどに興味があり、勉強してみたいし、やってみたいと思っているのですが...。新城市の宣伝になればいいなど。</p>
<p>・非常に立派なことが書かれていると思います。この内容に見合う条例、仕組みづくりは大変な事だと思います。また、実際に運営する上での課題は沢山ありそうです。いろいろな立場の方が様々なケースを想定し、十分な議論を重ねて定着しやすい形態になることを望みます。</p>
<p>・理念としては理解できます。市民の目線で表現されている点も評価します。しかしその先、地域自治体制度を想定すると課題が非常に多く、その困難さから逃避したいがための無関心層が増えてしまう事を心配します。</p>
<p>・理念なので、これで良いかと思います。ただ、大切なのは、この「理念」のもとに、どのような政策を行なっていくのかなのだと思います。多くの人の意見を聴くということは、曖昧な結論を生む可能性があります。市の抱える問題というものが、本当に市にとって問題なのかどうなのか？その結論を出す術をどのように作り上げるかが重要なのだと思います。</p>
<p>・良いことだと思うが、声の大きな一部の人間や、ある一定の地域だけの一部の人間や商店街だけの意見ではいけないと思う。本当に新城の住民が主体となっていなければならない。</p>
<p>・良いと思います。組織をしっかり作り困っていることやできないことを担当者(担当部署)がしっかり行い、『意見を言っても無駄』という意識を市民の方が思わないような活動を期待します。また、市民の方に無理に活動を強要しないよう配慮も必要と考えます。</p>